

10度目対戦 神鋼に初勝利 サントリー

日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

1月13日
日曜日
2002年
(平成14年)
PM 7:00

6大会ぶり2度目の優勝を決め喜ぶ永友(中央)らサントリーのフィフティーン(切り込み写真は後半7分、ゴール前のスクラムからトライを決めるサントリー斉藤(共同))

6年ぶり2度目

サントリー



全国社会人ラグビー

決勝 13日 東大阪市・花園ラグビー場
サントリー(東日本リーグ1位)が50-31で3連覇を狙った神戸製鋼(関西リーグ1位)を破り、6大会ぶり2度目の優勝をした。サントリーは神戸製鋼に公式戦10度目の対戦で初めて勝った。
50得点は第1回大会で配炭団が記録した57点に次いで、決勝戦では史上2位の大量得点。サントリーは序盤、神戸製鋼に2トライを許して前半を終えた。しかし、後半7分にスクラムからナンバー8斉藤が持ち出し、トライ(ゴール)を奪い逆転。その後は本来の継続プレーからリズムよく攻め続け、突き放した。